

「頼られる商工会議所を目指して」 苫小牧商工会議所



[表紙写真] (株) 苫花 / 関連記事 P8 会員さんこんにちは

CONTENTS

NEWS 第390回常議員会開催 ▶ P2

特集 北海道物流の課題と輸送力確保に向けた苫小牧の取り組み
第3回 ▶ P4~5

会員さんこんにちは (株) 苫花 ▶ P8



苫小牧商工会議所
LINE公式アカウント

\ここから登録/



第390回常議員会 開催

苫小牧商工会議所は8月10日、経済センター6階大会場において第390回常議員会を開催した。報告事項として、議員職務執行者の変更、第71回全道商工会議所大会開催報告、地域振興委員会主催講演会



開会の挨拶をする北條副会頭

「北海道とともに歩む次世代半導体プロジェクト」、本年度第1四半期会員入会について報告がなされた。また、顧問参与、委員会委員の変更、常議員の選任について協議がなされ、全会一致で承認された。

■議員職務執行者の変更

3号議員 飯沼 牧子氏
(出光興産(株)北海道製油所副所長)

■参与の変更委嘱

参与 佐々木 秀郎氏
(苫小牧港管理組合 専任副管理者)

■委員会委員の変更委嘱

地域振興委員
・飯沼 牧子氏
(出光興産(株)北海道製油所 副所長)

■常議員の選任

(11月開催予定)
第185回臨時議員総会決議事項)
・飯沼 牧子氏
(出光興産(株)北海道製油所 副所長)

商業部会・食品飲食業部会合同視察
エスコンフィールドHOKKAIDO・
小樽堺町通り商店街を視察

商業部会(吉本光国部会長 ㈱吉本仏壇店)、飲食業部会(高橋憲司部会長 ㈱志のぶ)は、8月7日に2部会合同視察を実施し、エスコンフィールドHOKKAIDO・小樽堺町通り商店街を視察。部会メンバー17名が参加した。

エスコンフィールドHOKKAIDOでは普段は入ることができないダグアウトやフィールド内を見学し、球場グルメやクラブトビールを味わった。当日は可動式屋根が解放され、自然光が差し込む素晴らしいロケーションの中、北海道の新たなシンボルを視察した。



フィールド内を見学



小樽堺町通り商店街振興組合の皆さんと交流

その後、小樽へ移動し、小樽堺町通り商店街振興組合との情報交換会を実施した。商店街がコロナ禍における観光産業の衰退からどのように復活したのか、小樽の現状などの説明を受けた。苫小牧と環境は異なるものの、参加者の興味は尽きず、質問も活発に交わされるなど、他地域の事業者との交流を図った。

[苫小牧商工会議所] ダイレクトメールサービス

毎月発行する会議所広報にチラシ、パンフレットを同封します。

約2,300の会員事業所に貴社の商品やサービスをPRしてみませんか？

例えば、A4版1枚を2,300枚郵送すると…

84円×2,300件=193,200円

このサービスを使うと22,000円で済みます。



折込料金(1回・税込)

チラシ	B5・A4版	22,000円
	B4・A3版(2つ折)	33,000円
パンフレット(冊子等) 30g A4版まで		55,000円

ご利用に際しましては、一定の規約があります。詳細は苫小牧商工会議所総務課まで。☎61-1030

TOMAKOMAI MIRAIFEST2023開催

9月2日、3日にキラキラ公園を拠点に、音楽フェス・アート・食・未来のテクノロジーを取り入れた複合型エンターテインメントイベント「TOMAKOMAI MIRAIFEST 2023」が開催されました。本フェスでは、フェスにも出演したSUGIZO氏プロデュースのもと、全国初の「地域共創GX プログラム」が始動するなど、「ワクワクした」新たな取り組みが実施されましたので、その一部をご紹介します。



人気アーティストの公演に足を運ぶ人々



音源や照明などMIRAIから給電した

1 水素エネルギーで発電した電源を用いたコンサート

道内で製造された水素を充填したトヨタ自動車の燃料電池自動車「MIRAI」が会場に集結し、アーティストの楽器や会場内の照明などに電気を供給した。

水素燃料電池で発電された電気での楽器演奏は、脱炭素の観点のみならず、実際に音質にも好影響を与えることが実証されており、先進的なコンサートとなった。

2 水素調理による料理の提供

水素を燃焼させて調理を行う「水素調理」のデモンストレーションが行われた。水素ガスのボンベと調理台がつながっている専用のコンロを用いた水素調理は、燃焼温度が約2,000度と高く、水素と酸素が結合して水蒸気が発生するため、食材の水分やうまみを閉じ込め、外側はカリカリ・内側はジューシーに素材を焼き上げられるという。

試食した人は「ほっき貝など海鮮類は抜群においしく感じ、エリンギは今まで食べたことの無い食感で衝撃を受けた」と水素調理の技術に感動していた。



水素はボンベから供給



専用コンロによる水素調理

3 自動走行バスの実証運行

苫小牧市では初めての取り組みとなる自動走行バスの実証運行が会場周辺で行われた。自動走行バスは乗車定員が11名で、キラキラ公園の入口から周辺を回る約2kmのコースを時速20kmで走行した。



会場周辺を走る自動走行バス



苫小牧地ビールも提供された

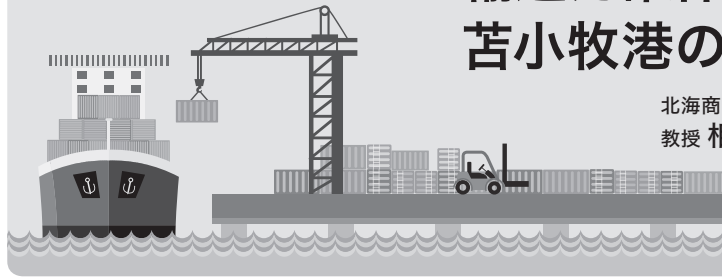
4 苫小牧クラフトビールの提供

昨年8月に苫小牧市に誕生した会社「北海道ブルワリー」のクラフトビールが本フェスで提供された。軽やかな甘味と酸味で、さわやかテイストの「カムイゲイル」(商品名)は、夏・港・フェスとの相性がよく、多くの来場者に親しまれていた。

北海道物流の課題と輸送力確保にむけた苦小牧港の取り組み

北海商科大学・大学院・商学部
教授 相浦 宣徳

連載 第3回



はじめに

今月号では、8月号で示した(1)トラック輸送、(2)フェリー・RORO船による輸送、(3)貨物鉄道輸送各々の問題の復習とそれらによる影響の整理を行います。次いで、7月号での「ふたつの共通の認識」を踏まえて、苦小牧港で始められている取り組みの意義、苦小牧港に期待されることをお示しします。

1. 各輸送方法における問題とその影響

各輸送方法における課題と影響を総括します。
トラック輸送においては、人材不足がさらに深刻化し、輸送力の低下、運賃の(想定以上の)上昇が起こる可能性があります。地域・荷主・荷物の取捨選択が加速し、海上輸送、貨物鉄道輸送双方に大きな影響を及ぼします。
フェリー・RORO船による輸送では、トラック輸送をボトルネックとする輸送力の低下、船員、港湾労働者の担い手不足による輸送力の低下が懸念されます。燃料高、環境配慮型燃料のサプライ施設などの整備に伴う運賃の上昇も起こります。また、万が一にも貨物鉄道の輸送力が喪失してしまった場合や低下した場合には、将来的な輸送需要の高まりへ対応が求められます。

貨物鉄道輸送については、この連載中に大きな動きがありました。函館本線(函館・長万部間)での貨物鉄道の在り方について、国、道、JR北海道、JR貨物の4者で実務者レベルでの情報交換会で議論が続けられていましたが、7月26日に、貨物鉄道輸送を維持する方向で一一致した点、有識者会議(年内に設置)で費用負担などの課題を議論し、2025年度をめどに結論を出すことなどが発表されました(北海道新聞7月27日朝刊)。続いて、「鉄道貨物輸送に関する地域意見交換会」が8月30日に開催されました。貨物鉄道の存続の仕方によつては、輸送力の低下、運賃の上昇が起こりえます。共用走行問題では輸送力の低下や需要との乖離が発生する可能性があります。

この様にいずれの問題も輸送力低下と運賃の上昇を引き起こす可能性を内包しています。また、貨物鉄道輸送力の低下に伴うトラック輸送力の配分変化、すなわち、トラック輸送力の地域間、業界間、輸送方法間での奪い合いが懸念されます。

2. 北海道の玄関口「苦小牧港」で進められている取り組み

7月号でお示したように、(1)苦小牧港は単なる「一物流拠点」ではなく、北海道内の各地域と全国各地を結ぶ、サプライチェーン上の重要拠点です。また、(2)サプライチェーン上の重要拠点であるがゆえに、川上・川下の産業・経済が脆弱化、もしくは、港湾と貨物の発地・着地との間の輸送力が低下した場合、港湾のもつ機能の価値が下がることが懸念されます。ここでは、これらを踏まえ、北海道の玄関口「苦小牧港」で進められている取り組み3点を、苦小牧港管理組合からお貸しいただいた資料に基づいて整理します。

1点目は「港湾と北海道内地域とを結ぶ輸送力の強化」、2点目は「輸送需要の増加・ニーズの多様化にむけたサプライチェーン上の重要拠点としての機能強化」、そして、3点目は「環境価値の創造」です。各々について、説明します。

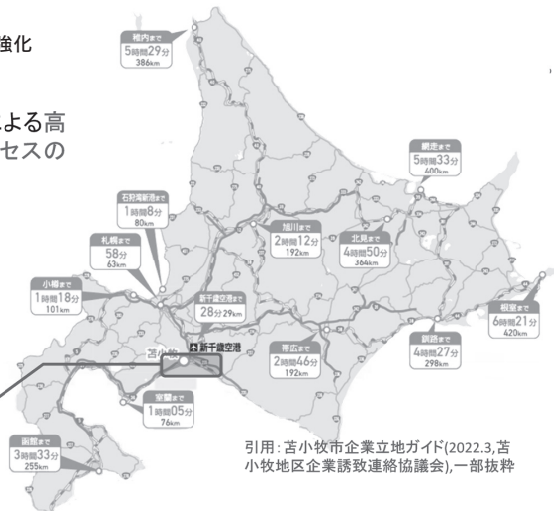
「1」港湾と北海道内地域とを結ぶ輸送力の強化

苦小牧港に期待する1点目の「港湾と北海道内地域とを結ぶ輸送力の強化」としては、まず、高規格道路ネットワーク

へのアクセスの向上があげられます。2020年には道央自動車道と国道276号線を結ぶ拠点となる苦小牧中央ICが開通し、市街地へのアクセスが向上しました。また、北海道縦貫自動車道や北海道横断自動車道、国道36号線などにより、苦小牧港と道内主要都市を結ぶ交通網が発達しています。2024年問題における改善基準告示にのっとった運

図1 港湾と北海道内地域とを結ぶ輸送力の強化

「苦小牧中央ICの開設(2020)」による高規格道路ネットワークへのアクセスの向上(苦小牧市内のIC6カ所)



引用: 苦小牧市企業立地方イド(2022.3, 苦小牧地区企業誘致連絡協議会), 一部抜粋

図2 新岸壁の整備によるキャパシティの拡充



西港区-中央北ふ頭

- R5.4より共用開始
- バース不足による混雑や滞船が緩和される
- 荷捌き地など背後ヤードの再編による一体的な利用で荷役の効率化を図る



東港区-周文ふ頭

- 公共岸壁不足の解消のため、周文ふ頭の複合一貫輸送ターミナル整備事業に着手
- 連続バース化により、バルク貨物の取扱いや農水産品輸送等の利便性向上 → 働き方改革への推進
- 耐震性を強化することによる地震防災への備えも可能

行管理上の一つの目安となる片道4時間半で到達可能な地域が大幅に拡大いたしました(図1)。

次いで、豊富な調査・研究に基づく将来構想があげられます。苫小牧港管理組合をはじめとする皆さまによる綿密な調査が以前より実施されており、荷主企業さま・物流事業者さまへの綿密なヒアリング調査などに基づいた道内地域間の中継輸送など、道内の遠隔地域からの「苫小牧港を介した一貫輸送システム」の維持・進化にむけ、さまざまな施策が検討されています。

「2」サプライチェーン上の重要拠点としての機能強化

2点目の輸送需要の増加・ニーズの多様化にむけた「サプライチェーン上の重

要拠点としての機能強化」では、①新岸壁の整備によるキャパシティの拡充、②小口混載コンテナ輸送支援事業、③荷役の効率化などが進められています。新岸壁の整備によるキャパシティの拡充としては、令和5年4月より共用される「西港区・中央北ふ頭」ではバース不足による混雑や滞船の緩和、荷捌き地など背後ヤードの再編による荷役の効率化が図られました。「東港区・周文ふ頭」では、公共岸壁不足の解消を目的とした複合一貫輸送ターミナル整備事業が進められています。また、「連続バース化」によるバルク貨物の取り扱いや農水産品輸送等の利便性向上や、耐震性の強化による地震防災への備えも進められています。

北海道産農水産品の輸出拡大や苫小牧港の利用拡大を目的とした、②小口混載

コンテナ輸送支援事業では、コンテナ内の空きスペース分の増高費用を「苫小牧港利用促進協議会」からの支援により、コンテナサイズに満たない少量の荷物を輸出する際の輸送費を低減することが可能となります。この取り組みは、日本港湾協会企画賞を受賞しました(令和4年5月)。

③荷役などの効率化では、従来型の係船柱からクイックリリースフックへ変更することにより、係船作業に要する時間が大幅な短縮が期待されます。

「3」環境価値の創造

内航海運においては、急ピッチに「グリーン化」が進められています。2020年1月に発動したIMO(International Maritime Organization:国際海事機関)による硫黄酸化物(SO_x)排出削減に対し、新燃料油への変更などにより対処しているが、次世代船ではLNG船などへの切り替えが予定されている。例えば、LNG船への切り替えにより、CO₂は25%の削減、NO_xは43%の削減、SO_xはほぼ0になります。一方で、LNGなどの新燃料油への変更に伴い、内燃機関の開発、燃料のサプライチェーンの構築やバンカリング施設の整備が必要となります。こういった背景から、「CARBON NEUTRAL PORT Tomakomai」を目指す苫小牧港では、LNGバンカリングトライアル実証(令和4年9月)を行いながら、環境燃料サプライ施設などの整備を進めています。また、次世代エネルギーの備蓄機能、北海道内や北日本への供給機能、カー

ボン・リサイクル・コンビナート機能の整備を検討しています。

おわりに

3カ月間の連載を通じ、北海道物流における現状と課題、そして、苫小牧港における取組を紹介いたしました。昨今の北海道物流の問題の解決にむけ、苫小牧港は、わが国における内貨物量の随一の港湾として、国際拠点港湾として、サプライチェーン上の重要拠点として、日々のためめ努力と創意工夫により、着実に進化を進めています。一方で、急激な(物流や社会情勢などの)環境変化を鑑みると、予断の許さない状況が続いていきます。さまざまな変化に対応していくように、全体の動向を注視した柔軟な対応と未来へのチャレンジの継続を期待いたします。最後になりますが、連載記事の執筆において、ご助力くださいました多くの皆さまに感謝申し上げます。特に、多大なるご協力を賜りました港湾政策室長 山崎直人さまをはじめとする苫小牧管理組合の皆さまに深く感謝申し上げます。



北海商科大学・大学院・商学部 教授 相浦 宣徳

1969年生まれ。新潟県出身。2000年北海道大学大学院修士・博士(工学)を取得後、京都大学工学部・助手などを経て、2011年より現職北海商科大学・大学院・商学部・教授に就任。専門は、地域物流・ロジスティクス

苫小牧港開港60周年記念 シンボリックモニュメント設置

苫小牧港開港60周年を記念し、制作されたシンボリックモニュメント「PORT OF TOMAKOMAI（ポートオブマコマイ）」の除幕・点灯セレモニーが8月18日にキラキラ公園で行われた。苫小牧港管理組合管理者である岩倉博文、苫小牧市長や港関係者がセレモニーに参加し、当所からは宮本知治会頭、関根久修副会頭が出席した。セレモニーが行われた8月18日は、今から72年前の1951年に苫小牧港起工式が行われた記念すべき日であり、来賓からは開港60周年を迎えた苫小牧港へのさらなる発展と活躍に期待を込めてあいさつが行われた。特別ゲストに北海道日本ハムファイターズのファイターズガール

が登場し、来賓や関係者とともにモニュメントの除幕を行った。その後、ファイターズガールによるダンスパフォーマンスが披露され、セレモニーの観客たちを沸かせた。

設置されたモニュメントは「TOMAKOMAI」の文字が白と青で交互に彩られていて、港に出入

りする船からも見えるように工夫が施されている。「苫小牧港の象徴であり、多くの方に愛されるように」という思いがモニュメントに込められていて、夜間はライトアップされ、苫小牧港を彩る新たな注目スポットとなっている。



セレモニー参加者で記念撮影



総務部総務課総務係
井上 美穂

■本人より一言
「早く業務に習熟し、会員の皆さまのお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。」



総務部総務課総務係
木村 恭太郎

■本人より一言
「不慣れですが、一生懸命に頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。」

新入職員紹介

苫小牧商工会議所に9月1日付で2名の新入職員が採用されました。今後さまざまな業務で会員の皆さまにお会いいたします。どうぞよろしくお願いたします。



10月1日からインボイス制度がスタート！ 苫小牧会議所オリジナル インボイス発行事業者登録済ステッカー

苫小牧商工会議所オリジナルの「インボイス発行事業者登録済ステッカー」を配布しています。
・すでに受け取られた方は申込書が不要です。商工会議所3階窓口にお越しください。
・新たに受け取りを希望される方は、申込書に必要事項を記入の上、商工会議所3階窓口にお越しください。

申込書・詳細は苫小牧商工会議所HPから
https://tomakomaicci.jp/pages/405/detail=1/b_id=988/r_id=782



お問い合わせ先
事業推進課
TEL：61-1191

すでに
受け取られた方も
OK!!

ご利用
ください

専門相談室 2023年10月の予定

事業経営に必要な専門的アドバイスは、
商工会議所・中小企業相談所の専門相談員にご相談ください。
事前予約が必要な場合がございますのでまずはご連絡ください。

法律相談
弁護士 **岡田秀樹氏**
【10/4(水)13:00-15:00】

登記相談
司法書士 **上瀬戸拓也氏**
【随時】

経営相談
中小企業
診断士 **岩佐秀明氏**
【11月を予定】

労務相談
社会保険
労務士 **定蛇 萌氏**
【10/17(火)13:00-15:00】

各種相談を
希望される方

税務相談
税理士 **別段 清氏**
【常駐 10:00-16:00】

発明・特許相談
弁理士 **内藤拓郎氏**
【11月を予定】

許認可申請相談
行政書士 **山口美津男氏**
【随時(月・水・金)】

苫小牧商工会議所に
TEL(予約手続き)

当日予約時間に
お越しください

日本政策金融公庫中小企業事業部 …… 希望する方はお電話でお問い合わせください。

中小企業団体中央会 …… 毎週水曜日 10:00-12:00

北海道信用保証協会経営相談 …… 第1・第2木曜日 10:00-16:00

日本政策投資銀行 …… 希望する方はお電話でお問い合わせください。

予約・お問い合わせ

苫小牧商工会議所・地域振興課

TEL: 61-1130

※事業承継相談は地域振興課まで

新入会員のご紹介

2023年8月入会の事業所を紹介します。(敬称略、会員番号順)

事業所名	代表者名	住所	事業内容
ビューティー サロン トウインクル トウインクル beauty salon Twinkle Twinkle	石井 夕生	弥生町	エステサロン
マルハナ石田商会	石田 英人	北光町	絵本カフェ&居酒屋

年末調整の
実務セミナー
開講します！

年末調整事務の実践ポイントがよくわかる！ 実務経験者向けのセミナーです。



講師
税理士 **中島 由雅氏**
(中央税務会計事務所 所長)

日 時：2023年11月1日(水) 14:00~16:30

場 所：ホテルウイングインターナショナル苫小牧 2階 第1ホール
(苫小牧市表町5-7-1)

定 員：30名

申込締切：10月25日(水)

申込方法：会議所HP、または同封チラシにあるQRより
専用申込フォームにアクセスし申込

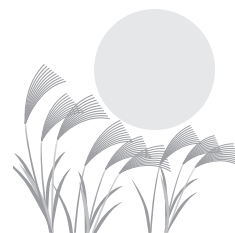


申込みフォームは
こちら

詳細は同封チラシをご確認ください！

編集後記

今年の夏はお祭りやイベントは楽しみましたか？私は9月2・3日に開催されたミライフストへ取材に行き、フェスの雰囲気を楽しみました！帰宅後、顔が真っ赤になるくらい日焼けしてしまいましたが、楽しい思い出となりました。(あずき)





花のまち苫小牧を目指して

(株) 苫花



左から北村さん、野宮さん



月・水・金の朝8時30分からセリが行われる



セリの様子



スペースの貸し出しもやっている

花の流通は、卸売業者（苫花地方卸売市場では苫小牧中央花卉協が請け負う）が全国各地の生産者や海外から仕入れた花を卸売市場で競りを行い、仲卸業者や花屋へ流通させている。仲卸業者は主として卸売業者からまとめて仕入れて小分けにして花屋へ流通させる機能も持つ

仲卸業の関関係って？

卸売市場・卸売業・仲卸業の関関係って？
そして、2023年1月に公設地方卸売市場から民設になった苫花地方卸売市場。市が生産および流通の円滑化と市民等への花の普及を図るため、公募を経て同社に施設を売却。「苫花地方卸売市場」をオープンした。

仲卸業と市場管理の二刀流

今回ご紹介する会員さんは、花の仲卸と苫小牧地方卸売市場の運営・管理を行う「(株)苫花」。市場長の北村徹夫さんと、取締役部長の野宮健佑さんに、事業と今後の挑戦についてお話を伺いました。

市民にとってなじみのない卸売市場を身近な場所に変えるための取り組みを進めている最中の同社。これからはこの場所を皆さんに知っていただくとともに、花に触れてもらう機会をどんどん増やしていきたいと考えています。花き業界を盛り上げていくためにも、花を購入してくれる人の裾野を広げていく必要があるのでは」と野宮さんは話す。第1弾の取り組みとして、市場長の北村さんが会長を務める市場活性化連絡協議会では、花の移動販売「フラワーカー」を7月に実施した。普段、花を購入する機会がない方にも気軽に手にしてもらええる機会として、購入しやすい価格の花のアレンジメントや珍しい花を用意し、生花に限らず、花を使ったアクセサリーなども用意。多くの市民の方が足を止め、花を手にとってくれるなど大きな手ごたえとなった。

さらに市民との接点を増やそうと、市場の一室をイベントに利用できる場所として改装し、花にまつわる催しを開くことを条件に外部にも貸し出しを行っている。カフェを思わせるおしゃれなホールでは、すでに市民に向けたフラワーアレンジメント教室を開催しており、すぐに定員がいっぱいになるなど、好評を得ている。

もっと花に触れてもらう機会を

ており、この卸売市場・卸売業・仲卸業の持つ機能により、私たちが多種多様な花々を安定して買うことができている。

取材を通して感じたこと

コスプレフェスタの撮影場所に市場を開放するなど、多方面に市場の開放を進めている同社。同日に、市場を利用して市民に向けたイベントも企画しているようで、今からどんな内容になるのかとても楽しみです。ある研究データでは花の癒やし効果が医学的にも証明されており、労働効率の上昇や、ストレスの軽減が期待できるといいます。ぜひ、家庭や職場などで花に親しむ機会を増やしたり、大切な人に花を贈ってみたいという方はぜひいかがでしょうか。



アクセスマップ

最後に今後の目標について尋ねると、「自分たちだけのイベントだけでなく、花き業界以外の企業や団体の方と一緒に企画や活動できた」と北村さんは答える。イベントをきっかけに花に継続的に触れてもらい、暮らしの中に花の存在を当たり前にしたという期待に胸を膨らませる。

また、市場が『花に関するさまざまな取り組みを行う場所なんだ』と思われるようにしていきたい」と決意する。そのために、より発信にも力を入れ、「仲卸業としても、さまざまなサービスを供給できるようにしたい」と野宮さんは力強く語った。

市場から花と緑の価値を発信

